

寺報

得源寺



第 13 号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職 大橋友啓

☎ 0767-68-2096

弥陀チヨコ！

住職 大橋友啓

毎月の月忌参りをお迎える
お宅では、お内仏にその季節に
ふさわしいお供え物を何にしよ
うかと考えるのもなかなか大変
なことのようにある。

特別にお願ひしたこともない
のだが、お茶菓子とは別に季節
の果物などのお供えを、帰りに
「おさがり」といって下さるお
宅も少なくない。

二月になると、この土地では
「うぐいす餅」とか「きんぐら餅」
が定番だが、これはあくまでも
お茶菓子である。特にお供え物
として二月に多いのがチヨコ
トである。

スーパールのレジ周りは賑やか
に聖バレンタインデーにむけて
デコシートされているから、思
わず手も伸びることなのだろう

か。そんなチヨコの「おさが
り」を頂戴すると、何か変な気
がする。これでも坊さんなんだ
けど。という私のプライドに
傷がついたりする。

こんな私の戸惑いをよそに、
自分の大好きな阿弥陀様にチヨ
コをお供えしたいという行為に
は、異教の文化さえも仏事を取
り込んでしまっただかかな真宗
門徒の 女性の姿に恐れ入らず
にはいられない。

毎年必ず二月一四日が近づく
と数個のチヨコレートが私の手
許にある。すべて月忌参りにお
訪ねしたお宅の女性から頂いた
ものである。二〇歳以上もの差
があるとはいえ、女性からチヨ
コレートをいただく、やはり
ワクワクする。

「これは仏教とは関係ない行
事で…」などと、無粋なことは
言わないことにしている。なぜ
なら、このチヨコは、人生をし
たたかに生きてきた女性たちの
心を支えてきた阿弥陀様に対す
る感謝の心がこめられた『弥陀

チヨコ』なのだ。と、思うこと
にしている。

私にとって、二月一四日は、
自分の誕生日の次の日である。

と同時に、永い人生を歩んでき
た女性たちのたくましさ、した
たかさに思いを新たにすると日
なのである。

しかし、毎年確実にこの『弥
陀チヨコ』の数が減ってきてい
ることは寂しいことである。

二〇〇六年二月

これは、一七年前に当寺のホ
ームページに掲載した私の文章
です。干支の六巡目を迎える身
となった今は、手元にチヨコな
んぞあるはずもないのですが、
それよりも、何が何でも阿弥陀
様を一番にしていた高齢者は殆
んど見なくなり、変わって多く
なったのが「オレオレ詐欺」に
引掛かる高齢者の数です。仏
事の衰退はあつという間ですが、
二〇〇〇年頃から始まったこの
詐欺は、二〇年たった今も手法
を変えながら依然として衰える
どころか増加の一方とは、嫌な
世の中になりましたね。
新しい年を迎え、今一度『自
分の仏法』を問いたです年にし
たいと思うことです。

今年誕生八五〇

いよいよ本年の三月二五
日から四月二九日にかけて
宗祖親鸞聖人御誕生八百五
〇年慶讃法要が京都の真宗
本廟（東本願寺）で三期に分
けて執り行われます。併せて
立教開宗八百年。つまり親鸞
聖人五〇歳。この時に私たち
が最も親しんでいる正信偈
を含む『顕浄土真実教行証文
類』俗に「教行信証」と呼ば
れる論文が整ったとされ、こ
れを浄土真宗の始まりとし
今年で八百年を迎えます。
参拝は、全国の教務所単位
で行う団体参拝となり法要
期間中に参拝できる当寺の
割り当て人数は三名です。
折角のご縁ですので、本山
参拝の希望があれば、得源寺
の団体参拝を計画してもよ
いと思っています。その際
はお声掛けいたしますので、ご
参加くださいますようお願い
申し上げます。

お知らせ!

(二〇二三年二月～五月)

各家庭の報恩講を

一月中旬から四月にかけて当寺のご門徒さんの報恩講を各ご家庭で勤めるのが慣例となっています。

ご希望の日時をお電話いただければ助かります。

春の祠堂経会

三月一六日からお彼岸の二日までの六日間にわたって恒例の「祠堂経会」を勤めます。

毎日午後二時から二席のご法話と参詣者全員でお逮夜の正

信偈のお勤めがあります。

ご門徒に限らず仏法を聞きたいという全ての方に開放された法座です。知ったか振りの仏法では通じない世の中です。しっかりした信仰を身に付ける良い機会にして下さい。仏法聴聞に遠慮はいりません。

とき 三月一六日(木)から

二一日(火)まで

午後二時 お始まり

講師 西岸 正映氏

(中島町田岸)

コロナ禍の中で

寒い気温が打ち寄せる波のようになら次から次とやってくる自然現象を「寒波」と名付けた先人

の観察力とセンスの良さに感心

しますが、新型コロナは第八波と味気ない。毎月当寺を会場に開催していた「寺カフェ」や「ヨガ」は新型コロナの影響で開催を見送ってきました。市町ごとに感染の状況が公表されていた昨年の九月以前は、数字をもとに各自が用心しながら行動していたと思います。数字の公表が無くなり大丈夫なのかと思っていいたら、県内の数字が北陸三県で群を抜いている始末。第八波の状況下での行事再開は、今少

寺報送ります!

寺報をここに送ってほしいという方は、ご連絡ください。

☎ 六八—二〇九六

茶台頭

欠



頭

今号の脳トレ

今回も、十字クロスに挑戦してください。
真ん中の口^{くち}に文字を入れてください。

※ 種明かしは次号です。

知

前号の答えで～す。



遂にきた神事グッズ

神道と仏教の垣根を越えて欲しいとの願いなのでしょう。初めて寺の玄関に左儀長グッツが置かれていた。



左儀長は、その昔中国で仏教と儒教のどちらが優れている教えかという論争があり、それぞれを代表する「論語」と「御経」を並べて火力の強い孟宗竹で焼き上げてみれば分かるという事で始まった宮中行事だそうで、左側に置いてあった「御経」が燃え残ったことから左が長じていたというのが行事の名前の由来らしい。正月の民間行事として全国各地で行われているが、田鶴浜では旧正月行事としてゴシャメンという飾りを孟宗竹に七タのように吊るすという謎の多い神事として古くから伝わっている。(釋友啓)